

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣商業高等学校

学校番号 26

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 知・徳・体の調和のとれた豊かな心と健やかな体を育成 (2) 地域、家庭、学校の連携協力による明るく、活力ある、地域社会人の育成	
2 評価する領域・分野	◇教務部（教育課程・学習指導）	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・生活実態調査で「半分くらいの科目が理解できない」が8.2%、「ほとんどの科目が理解できない」が2.0%と回答しているが、その理由として教員の説明の分かりにくさをあげた生徒は27.4%、興味がない「10.4%」と高くなっている。外部評価では、ICTを活用した学習指導がおこなわれていることに80%の生徒が肯定的な評価をしていることから、種々のICT機器の活用により授業改善を進めたい。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇ 確かな学力の確立 (1) 授業の工夫・改善、ICT機器の活用による確かな学力の確立 (2) スケジュール管理の徹底による学習習慣（家庭学習等）の確立	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・各教科との連携（教科会、授業研究会の充実） ・専門教育推進部との連携（資格取得のための支援体制の充実） ・学年会(組)、特別活動部(部顧問)との連携（家庭学習の習慣付け）	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 全教科で公開授業、全教員による授業参観の実施 (2) 授業改善に係る生徒意見の聴取と教員の改善計画、改善報告の実施 (3) 計画的な学習及び学習習慣の確立に向けたスケジュール管理手帳の活用推進	(1) 公開授業を実施する教科・科目数等 (2) 授業改善計画書及び改善報告書の提出 (3) スケジュール管理手帳の活用状況	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
◇全教科での公開授業、授業参観の実施 ・ICT機器・一人一台タブレットの活用 ・「主体的・対話的で深い学びの実践」をテーマに全教科で公開授業を実施（11月）、全教員が参観し意見用紙を提出 ◇授業改善に係る生徒意見の聴取と教員の改善計画、反省の実施 ・授業改善に係る生徒意見の聴取（7月）、改善計画（9月末）、改善報告の提出（2月） ◇スケジュール管理手帳の確実な実施 ・毎SHR及び各授業、ガイダンスでの活用推進	①全教科で公開授業が実施され、全教員が授業参観を行ったか。テーマに対する意識は高まったか。 ②授業改善計画書は全員提出され授業改善は進んだか。 ③スケジュール管理手帳は、毎SHRや授業等で活用され、計画的な学習、行動に結びついているか。	A <input checked="" type="checkbox"/> B C D A B C D A <input checked="" type="checkbox"/> B C D
11 成果・課題	○生徒から授業改善要望を聴取した結果、多くの率直な意見が寄せられた。教員にとっては指導する上での気付きが得られ、授業改善に対する意識が高まった。 ○学習評価が多面的になされていることの生徒の理解が昨年度より上昇傾向にあるが、わからないと回答する生徒がまだ多い。学習評価について今後も生徒の学力向上へとつながるように実施していきたい。 ▲「主体的・対話的で深い学び」が実践できるようなICTの授業活用について、研修などを通しさらに意識を高めていく必要がある。	
12 次年度に向けての改善方策案 ・新学習指導要領が提唱する生徒に身に付けさせる資質・能力を踏まえ、ICT機器を活用した学習指導、授業改善につながる教員研修を実施する。また、観点別学習状況評価について課題を洗い出しながら取り組んでいく。 ・生徒からの授業改善要望等に基づき、教員と生徒の良好な人間関係の構築の上に授業改善を進める。		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和6年1月23日

【意見・要望・評価等】

・社会人になって、高度な技術や知識を身に付け、会社の中で重要なポジションにつくための勉強は一生継続。高校で主体的に学ぶ意識を身に付けさせてほしい。

・クリエイティブな取組が多く、オリジナリティのある作品発表会であった。授業で教わったこと以上の学びができていると感じた。